



東京小児療育病院 正面玄関 藤の花



No.41 (令和2年)

# 社会福祉法人 鶴風会

東京小児療育病院  
西多摩療育支援センター  
後援会

### 連絡先

〒208-0011  
東京都武蔵村山市学園4-10-1  
電話 042-561-2521 (代表)  
東京小児療育病院  
Eメール tcrh@kakufuh.com

## 理念

私達は  
障害児者の生命機能の維持  
向上と生活援助のための誠実な  
積極的取り組み障害児者と  
その家族を支援します

## コロナ禍に思う

社会福祉法人鶴風会  
理事長 松尾 賢二

中国の武漢市より発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がり多大な被害をもたらしました。我が国においても感染者数が20,000人を超え、死者も1,000人に迫る大災害となりました。当施設では流行が見られる前より、退職者の送別会、病院内の会議の中止、監事監査、理事会・評議員会の書面開催などの3密を避けるための対策を講じました。感染の広がりが頻繁に報道される頃には、感染症の専門家である東邦大学大森病院の小林寅吉教授を鶴風会にお招きし、感染症対策に備えました。実質的には業務執行理事である椎木俊秀病院長の指揮のもとに、短期入所の受け入れ中止や大幅な事業の見直しなど適切で迅速な対応を行い、その結

果、現在まで無事に新型コロナウイルス感染症を防止しております。その一方、昨年事業業績が大幅に改善し、今年は建て替えに向けた本格的な積み立てを始めようと思っていた矢先に、再び苦しい運営状況となってしまいました。今年度の事業収益の増加は期待できないため、事業の質は落とすことなく少しでも赤字幅を削減するために、新型コロナウイルス感染症による減収対策と従来から予定していた経費削減策を前倒しで行うこととしました。新型コロナウイルス感染症による減収に対して都の借地である土地賃借料の減免の申請、西多摩療育支援センター駐車場の賃借料の値下げ交渉などを行いました。また光熱費削減の為に院内の蛍光灯(600本)を工事の委託せずに施設管理職員で速やかにLEDに交換しています。他にも11基ある外灯(水銀灯)を電気料のからないソーラ式に変更し、トイレも新型コロナウイルス感染症対策も兼ねて、吐体量が10〜15しと多い便器を、吐体量4.5しと少ない

- 1頁 コロナ禍に思う
- 2頁 わが国の「少子化」対策を考える
- 3頁 新型コロナウイルス感染症拡大のなかで
- 4頁 西多摩だより
- 5頁 多様な人がいることの幸せ、強さ
- 6頁 副院長就任の挨拶
- 7頁 決算報告
- 8頁 お知らせ
- 7頁 令和二年度 鶴風会表彰
- 8頁 ご寄附者名簿・ご寄贈者名簿

節水型に変更するなど経費削減に努力をしております。それらの対策により年間400万円以上削減されることを見込んでいます。これらの対策は緊急性を要したため予算が無く、後援会長としてご尽力いただいている青木継捻先生にお願ひし、皆様から頂戴した貴重な寄附金を有効に使用させていただきましたことをご報告申し上げます。ご理解頂きたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症はわからないことが多く、毎日のように感染症の専門家がマスコミに出演し解説しています。各国の対応も様々で中国では中央政府の命令で封鎖を行い、欧米を始めほとんどの国では罰則を伴つた外出禁止令が発令されてきました。それに関わらず順守出来ずにパンデミックが発生し、暴動が起きる国も見られました。それに対し我が国では罰則の無い非常事態宣言が発令されましたが、強制ではないにも関わらず、ほとんどの人がそれに従い目標を達成することが出来パンデミックに至りませんでした。この様に日本人が規律に従い、感染がコントロールされたことに対し世界は不思議に思っています。それは日本人が培った素晴らしい文化が影響していると思ひます。我が国古来の武道

である剣道、柔道、合気道などは単なる勝負とかスポーツでなく、修行であり人間性を向上させるもので、同じように茶道、華道、書道なども精神が鍛練されるものです。食においても日本は長寿国であり、日本食が健康食、長寿食として世界に注目されています。

日本人の素晴らしいところは、思いやりがあり、お互いに譲り合う気持ちがあり、素直にごめんなさいと言える国であることです。相手の立場に立つて、問題に向き合つて優しく解決して行く土壌が培われています。皆様におかれましても和の精神を持って新型コロナウイルス感染症に合わせた生活様式を身につけて、この緊急事態を是非乗り越えて頂きたいと心より願っております。

最後に大変残念なことですが、新型コロナウイルス感染症に対する治療薬や予防ワクチンが確立していない状況や東京オリンピック・パラリンピックも来年夏に延期され、その先行きも不透明であることもあり、青木後援会長、中里理事と相談した結果、今年度は鶴風会の行事である「バザー・みどり祭り」や「オルフェの会」の開催は難しいと考えておりますことをお知らせ申し上げます。

## わが国の

## 『少子化』対策を考える

社会福祉法人鶴風会後援会  
会長 青木 継捻

### ◆新型コロナウイルス感染

今年は、中国武漢から新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）感染が世界的大流行・パンデミックとなり驚かされました。高齢者ほど重篤な肺炎などにて死亡リスクが高く約5%近くの死亡率のようです。約100年前にパンデミックになったスペイン感冒（インフルエンザ）は第2波・第3波の方が広がりが強く、我国でも約48万人が亡くなったと報告されました。今回も第2波・第3波が心配され医療崩壊しないよう万全の対策が期待されます。新型コロナは、一般病院やクリニックにも大きな影響をもたらし、病院に行くと感染すると心配し患者様が激減したとお聞きしました。当法人の東京小児療育病院や西多摩療育支援センターにも大きな影響が及び、感染防止対策が進められ、短期入所事業の原則中止、その他の事業縮小を余儀なくされて経営面の悪化が心配されています。椎木院長の感染防止対策が検討され発表されています。

人類は過去から現在にかけてペスト、コレラ、インフルエンザ等の大流行と戦い克服して来ています。今回も克服できると思ひますが、早期終息を願つばかりです。

### ◆わが国の『少子化』の進行

本日の私の主題は、新型コロナ騒ぎで注目されなかったのですが、6月6日に発表された令和元年（2019）度のわが国における出生数の激減のニュースです。わが国の『少子化』の予想以上の進行が極めて深刻なのです。令和元年度の出生数が86万5千人余であり、「合計特殊出生率（一人の女性が出産する数）」は、1.36と前年より0.06ポイント低下（1.8以上でない）と人口は減少したとの発表がありました。私が小児科医となった50年以上前は、年間200万人以上の出生数でした。三〜四年前（2016）に出生数が100万人を下回った報道に大きなショックを受けたのですが、今回も大変驚きました。この調子ですと、100年後の日本の人口は半減し、数百年度には日本人は極く僅かになって、日本列島に日本人が居なくなり、日本消滅の危機が確実に訪れることとなります。

◆合計特殊出生率を向上させる  
合計特殊出生率を低下させないため

には出産可能な女性を全面的に応援することです。男女同権・男女雇用機会均等による女性の社会進出は推進すべきであり、この傾向は益々顕著になるでしょう。しかし、生物学的な男女の役割分担は仕方ありません。結婚、出産、育児、教育・学費等を強力に支援することが重要な国策にしなければなりません。出生した子が大学等を卒業するまで経済的に保障する。育休を十分に与えること、養育環境・保育環境の充実（安心安全な育児・保育環境と人員確保）が必要です。また、女性の働き易い環境にすることも重要です。

例えば以前の共産圏における24時間保育も考慮すべき選択肢の一つだと思います。フランスの女性への育児・教育支援や働き方改革もモデルになるかも知れません。出産・育児等に対する女性の職場改革・応援する環境作りも大切です（出産・育児による解雇、中傷などあつてはなりません）。一方、昔のよつに男性を含めて一家を養つことのできる給与体系の確立をしなければなりません。共稼ぎでないと生活できない経済状況では子育ては容易ではありません。最も先進国である米国の女性の社会進出・活躍は素晴らしく優秀有能なキャリアウーマンは目を見張るばかりです。そんなキャリアウーマンの多い米国女性でも約半数は、結婚や出産を境に家庭に入られるのです。男性の経済力が大きいと思います。

#### ◆日本政府は『少子化防止』が第一

日本政府は直ちに少子化対策を国策の第一とすべき時で待ったなしです。議員や公務員の半減、IT化推進、働き方改革などから始めることです。「合計特殊出生率」を1・8以上にしなければ、日本の将来はありません。

### 新型コロナウイルス 感染拡大のなかで

東京小児療育病院

院長 椎木 俊秀

令和2年度が始まり気分も新たに事業の推進を図りたいと意気込んでいたところ、新型コロナウイルスの感染拡大のため、全く想定外の対応を迫られています。

7月5日時点で世界の感染者、死者はそれぞれ1,100万人、53万人を超え、終息の気配はありません。日本においても5月25日に緊急事態宣言が解除されて以降、感染者が徐々に増え、感染者は2万人、死者は千人に迫っています。ワクチンの開発には数年を要

する可能性が高いため、2、3年は今のよう状況が続くことが予想されます。感染対策を十分に行い感染者の急激な増加を防ぎながら、少しずつ「新しい生活様式」も取り入れた日常を取り戻していく必要があります。

当院は従来より感染対策に力を入れて来ていますが、さらに対策を強化しています。マニュアルを見直し、マスク、手袋、ガウンなどの個人防護具などもできるだけ揃え、学習も深めながら対策を取っています。緊急事態宣言に伴い短期入所を中止し、通所、外来も事業規模を縮小しながら運営を続けて来ました。緊急事態宣言解除後は短期入所も再開し、感染対策を維持しながらサービスを元に戻すために制限を少しずつ緩和していますが、院内感染、クラスター発生の防止を優先してやっけて行くつもりです。万一院内で感染者が出た時のために一定のベッドを確保しているため、今年度は莫大な収入減が避けられない状況です。

今の状況をよく新型コロナウイルスとの闘いに例えますが、人類の自分との闘いという方が正しいかもしれませぬ。新型コロナウイルスが意図的に人類に攻撃を仕掛けて来ているわけではありません。私たちが接触感染や飛沫

感染によって勝手にウイルスを拡散させているだけです。世界のグローバル化がそれに拍車をかけています。人類は新しいウイルスの出現にも関与していないそうです。森林の伐採や自然の破壊が進み、野生動物と人の距離が近くなり、それが新たなウイルスの出現を助長している可能性が指摘されています。温暖化の影響でシベリアやアラスカの永久凍土が溶解し、新たなウイルスが発見されたりもしています。

医療崩壊の一因として効率性を追求するあまり病床や保健所等をどんどん削減して来た経緯があります。ロックダウンや自粛などで仕事や行動が制限された時、すぐに生活に困窮する人が多数現れ、補償対策も十分ではありません。想定外の災害や事態に柔軟に対応できる社会システムを軽視して来た結果とも言えます。つまり人類が一人芝居を演じているということになるかもしれません。

科学によって感染拡大を阻止するのか、経済の復興かという議論が盛んになって来ています。最大の感染者、死者を出しているアメリカなどは経済重視の方向に舵を切り始めています。科学に基づく感染拡大の終息と経済の復興のバランスをどのように取ればよい

のでしょつか。ドイツのウイルス研究所と経済研究所との共同研究では実効再生産数（1人の感染者が他に感染させる人数）が0.75の場合が最適と発表されました。様々な科学的知見が蓄積されて来ています。政治家はそれらを政策に生かして行く必要があります。

新型コロナウイルスの世界中への拡大は、グローバル化した現代社会における感染対策の大切さ、世界が連帯して対応することの重要性を教えています。同時に現代社会の政治・経済・医療・福祉の脆弱性を露見させ、人類が存続を望むなら社会の在り方も含め根本的な改革をしなければならぬという警鐘を鳴らしているようにも思えます。今後もしろいろな危機が起こり得ます。この難局を世界が手を取り合っ

て何とか乗り越え、ここから深い教訓を得て、危機的状況でも犠牲が少なく、柔軟にたくましく対応できる、より良い持続可能な社会の創造に向けて、真剣に取り組むきっかけにしなければなりません。

な判断を下すマネジメント能力と組織の連携を高めるチャンスです。職員の一人一人が目標達成に貢献できたことの喜びと自信、そして他者への感謝と尊敬の念を実感できるチャンスです。平時に大きな変革は起こしにくいもので、危機的な状況では、それを乗り切るためには組織的にも個人的にも自己変革を迫られるので、飛躍のチャンスです。

明るい展望も持ちながら、ある感染症専門医が言っておられるように「ガイドを固めて正しく恐れたいと思います。やるべき対策をきちんと取りながら、笑顔や余裕も絶やさず、利用者の方々の日々の生活を豊かにするための努力を続けていきたいと願っています。

### 西多摩だより

西多摩療育支援センター  
センター長 鶴岡 広

コロナが流行っています。多摩地区の西部に位置し、障がい児者に医療と福祉を提供しているセンターとしても、年度当初からコロナ予防対策に追われました。

毎年6月に行う、地域と繋がる機会

となる周囲福祉施設を招いたセンター祭は、残念ながら中止しました。

入所者の面会や外出を制限し、新たな仕組みを整えました。一時的ではありますが、入所者とその家族に心配や不便をかけました。

通所時のバス内や、活動時の密を避けるため、部屋の利用方法や移動式のハンガーラックにビニールシートを掛けた隔壁を利用して、ソーシャルディスタンス確保の工夫をしました。今までと異なる活動となるので、利用者様には混乱させたと思います。

診療においては、1日の診療やリハビリの人数制限、来院者の入口での検温や健康状態の聞き取り、通路を分け、待合の密回避、密着を要する訓練の対応方法などの改良を行いました。来院する方々は、戸惑ったことでしょうか。

緊急事態宣言が解除されるとともに、社会活動も回復してきています。マスクなどの入荷ができるようになってきましたが、今だ義肢や補装具などの特別な部品は、外国からの流通が停止してしまっただけで入手が遅れています。修理や作製が思い通りに進みません。

地域の発達検診や進学相談が休止していますので、新たな相談者や患者さんの数が伸びていません。障がい児に

対する早期療育の開始に必要な、医療や福祉の介入の遅れが危惧されます。しかし、人は一人では生きていけません。三密を避けつつ、今こそ繋がらなければならぬでしょう。

### 多様な人がいること 幸せ、強さ

社会福祉法人鶴風会  
監事 三木 延義

新型コロナウイルス感染予防対策のため、さまざまなことに自粛を求められました。おかげで大好きな卓球もできなくなりました。でも、なんとか卓球をしたい。という思いが強くなり、ついに自宅で卓球をする試みに挑戦しました。

リビングのテーブルと台所のテーブルを繋ぎ合わせ、ティッシュの箱をネット代わりにして、ついに卓球台を作ってしまったのです。文字通りのテーブル・テニスです。狭いながらも、この卓球台で、十分に卓球を楽しめて、1時間ぐらいで大汗をかくことができました。

われわれ夫婦は、これを「リビング卓球」と称して、自粛期間に5回ほど楽しみました。遊びながら、この「リビング卓球」は新しい卓球のスタイル

のひとつになるのではないか（なるわけがないか）と妄想しました。

こんなことをしているときに、思いました。人というものは、今度のように環境が大きく変化したときに、それなんとか対応しようと工夫して進歩してきたのではないだろうか。

その前提になるのが、世界にいろいろな人がいなければならぬということだと思えます。さまざまな考え方の人、生活スタイルの人、多様な能力を持った人がいて、それぞれの人が、それぞれなりのさまざまな工夫を重ねて、新しい環境に適應する知恵が生まれてくるのではないのでしょうか。

進化論では、多様な種がいることで、生物は変化する環境に適應しながら進化してきたといわれているのです。

ところが現実を見ると、世界は、効率と利益のみを重視するひとつの標準（グローバルイズム、新自由主義とかいわれるものです）に集約するような圧力が強まっているように思われます。これは、環境変化適應力が減退することで、人類にとっては危険なことのように思われます。

もの見方がひとつしかないとき、それが環境変化に合わないときは総崩れになってしまいがち。

卓球の世界でも、張本智和、伊藤美誠などの素晴らしい技術を披露するブーの世界があつて、「リビング卓球」の世界もあつて、広がりや発展が出てくるものだと思います。

多様な人が存在するといふことの、幸せと力強さを感じる今日この頃です。



### 副院長就任の挨拶

#### 看護としての感染制御の歩み

東京小児療育病院副院長兼看護生活支援部長  
長田 幸枝

令和2年4月より東京小児療育病院の看護・生活支援部長兼副院長を拝命いたしました長田でございます。看護・生活支援部門に加えて、新たに医療安全と感染対策部門を所管する立場となりました。

身の引き締まる思いですが、安全安心を目指す東京小児療育病院に貢献できるよう誠意と熱意を持って取り組む

所存でございます。

私は平成3年4月にみどり愛育園に入職いたしました。病棟から通所へ異動し、通所係長であつた平成22年7月に東京医療保健大学大学院の感染制御実践看護学講座が開講されました。社会福祉法人鶴風会後援会のご支援により、第一期生として感染制御の学びを深め、感染制御実践看護師の認定を頂くことができました。毎週土曜日に五反田の東京医療保健大学院に通学し、週に数通のレポートを提出し続けたのは、辛くも懐かしい思い出でございます。当時東京医療保険大学の学長であつた故小林寛伊先生は感染制御学の権威であり、「結果を出しなさい」との叱咤激励は、今の私を支える大切な物の一つとなっております。故五島瑳智子先生からは、日頃からのご支援と東邦大学看護学部の感染制御研究室実習を組んで頂き、

包み込むようなご指導を賜りました。東邦大学実習でご指導を頂いた小林寅吉教授には、その後毎年感染対策研修の講演をお願いし、快く受けて頂いております。また新型コロナウイルス対策の院内巡視やご助言を頂き、多大な信頼を寄せております。

東京小児療育病院における感染制御

は、現在進行形の状況です。平成23年にICTを設置し、感染対策委員会やリンクナース、ラウンドチームの巡視は常態化いたしました。各病棟での同一病名の感染者数は減少しております。それは、職員一人ひとりの感染防止に対する知識・技術の向上と、病院が感染対策にかけて下さる人材育成の支援、必要物品の整備の結果であると思っております。

東京小児療育病院に入職しての29年の間に、様々な経験を積ませていただきました。看護管理・地域支援・医療安全・感染対策・健全な経営とフィールドが広くなり、考えなければならぬことが山積しております。難題にぶつかるとき、「これからは病院として感染管理が必要になってくる。あなた、行つてらっしゃい！」と背中を押してくださいました五島瑳智子先生の元気な声と笑顔が浮かびます。

質の高い看護・医療を提供できるよう多職種連携を強化し、院長の補佐として活動できるまで努力し、成長していきたいと考えております。東京小児療育病院を盛り上げていくために、誠実に務めてまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 社会福祉法人 鶴風会 令和元年度 事業活動計算書

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
サービス活動収益計	4,390,293,189	4,342,480,424	47,812,765
サービス活動費用計	4,261,825,128	4,263,468,789	-1,643,661
サービス活動増減差額	128,468,061	79,011,635	49,456,426
サービス活動外増減の部			
サービス活動外収益計	32,481,119	34,365,234	-1,884,115
サービス活動外費用計	4,430,189	5,446,722	-1,016,533
サービス活動外増減差額	28,050,930	28,918,512	-867,582
経常増減差額	156,518,991	107,930,147	48,588,844
特別増減の部			
特別収益計	18,509,636	22,561,978	-4,052,342
特別費用計	27,397,552	27,747,862	-350,310
特別増減差額	-8,887,916	-5,185,884	-3,702,032
当期活動増減差額	147,631,075	102,744,263	44,886,812
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額	1,379,863,765	1,247,119,502	132,744,263
当期末繰越活動増減差額	1,527,494,840	1,349,863,765	177,631,075
基本金取崩額	0	0	0
その他の積立金取崩額	106,000,000	100,000,000	6,000,000
その他の積立金積立額	150,000,000	70,000,000	80,000,000
次期繰越活動増減差額	1,483,494,840	1,379,863,765	103,631,075

社会福祉法人鶴風会では、経営の透明性確保をするため、社会福祉法に基づき情報を公開しております。

## 決算報告

## 社会福祉法人 鶴風会 令和元年度 資金収支計算書

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
事業活動収入計	4,442,912,000	4,422,774,308	20,137,692
事業活動支出計	4,150,721,000	4,073,816,562	76,904,438
事業活動資金収支差額	292,191,000	348,957,746	-56,766,746
施設整備等による収支			
施設整備等収入計	2,013,000	1,998,192	14,808
施設整備等支出計	112,106,000	104,781,327	7,324,673
施設整備等資金収支差額	-110,093,000	-102,783,135	-7,309,865
その他の活動による収支			
その他の活動収入計	82,008,000	142,300,444	-60,292,444
その他の活動支出計	219,162,000	272,978,328	-53,816,328
その他の活動資金収支差額	-137,154,000	-130,677,884	-6,476,116
予備費支出	10,000,000	0	10,000,000
当期資金収支差額合計	34,944,000	115,496,727	-80,552,727
前期末支払資金残高	1,455,723,000	1,455,724,211	-1,211
当期末支払資金残高	1,490,667,000	1,571,220,938	-80,553,938

## 社会福祉法人 鶴風会 令和元年度 貸借対照表

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,836,099,847	1,754,437,089	81,662,758
固定資産	4,663,348,189	4,675,180,534	-11,832,345
基本財産	2,643,904,338	2,767,967,299	-124,062,961
その他の固定資産	2,019,443,851	1,907,213,235	112,230,616
資産の部合計	6,499,448,036	6,429,617,623	69,830,413
負債の部			
流動負債	522,354,590	528,515,279	-6,160,689
固定負債	1,376,094,853	1,417,514,804	-41,419,951
負債の部合計	1,898,449,443	1,946,030,083	-47,580,640
純資産の部			
基本金	1,705,794,456	1,705,794,456	0
国庫補助金等特別積立金	810,700,753	840,920,775	-30,220,022
その他の積立金	601,008,544	557,008,544	44,000,000
次期繰越活動増減差額	1,483,494,840	1,379,863,765	103,631,075
(うち当期活動増減差額)	147,631,075	102,744,263	44,886,812
純資産の部合計	4,600,998,593	4,483,587,540	117,411,053
負債及び純資産の部合計	6,499,448,036	6,429,617,623	69,830,413

『オルフェの会』  
開催中止のお知らせ

令和2年12月6日(日曜日)に開催の予定をしておりました「オルフェの会」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、参加者・関係者の皆様の健康・安全面を第一に考慮いたしました結果、中止とさせていただきます。

楽しみにして下さっていた皆様には、ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。

ご理解のほど、何卒よろしくお願い致します。

社会福祉法人鶴風会後援会 事務局

『みどり祭り・バザー』の  
開催中止について

令和2年10月25日(日曜日)に開催の予定をしておりました、『みどり祭り・バザー』は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、参加者・関係者の皆様の健康・安全面を第一に考慮いたしました結果、中止とさせていただきます。

楽しみにして下さっていた皆様には、ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。

ご理解のほど、何卒よろしくお願い致します。

社会福祉法人鶴風会後援会 事務局

## 令和二年度 鶴風会表彰

当法人事業に貢献してくださる方々の功績を称え、令和二年度鶴風会表彰を行いました。受賞者の方々には、これまでのご尽力に心より感謝いたしますとともに、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

表彰式は、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、椎木院長から、受賞者を代表して、施設貢献表彰 齋藤雅昭様、永年勤続表彰 米井幸治様に表彰状の授与を行いました。

### 施設貢献表彰(敬称略)

ボランティア 齋藤 雅昭

### 永年勤続表彰(敬称略)

勤続三十五年

調理師 米井 幸治

勤続二十五年

生活支援員 富永 健雄

生活支援員 高橋 直樹

勤続二十年

生活支援員 齋藤 工恭

事務 竹内 真一

医師 牧野 道子

理学療法士 児玉 雅巳

看護師 清水 智美

生活支援員 久保 治

生活支援員 野島 裕美

勤続十五年

看護師 池田 陽子

歯科医師 若江 美樹

作業療法士 飛田 孝行

作業療法士 金子 麻衣



(佐藤事務局長 米井様 齋藤様 椎木院長)

作業療法士 小久保 朋  
心 理 大石 七重  
看護 師 小野 奈津季  
看護 師 松林 優子  
勤続十年  
生活支援員 鎌田 麻紀  
生活支援員 橋詰 偉  
看護 師 浅坂 美和  
臨床検査技師 和賀 富美代  
作業療法士 薦 悠衣  
准看護師 齋藤 奈保美  
生活支援員 齋藤 萌  
生活支援員 田中 ちあき  
生活支援員 田中 佳祐  
生活支援員 栗野 由実

## 勤続35年を 振り返って

東京小児療育病院  
調理師 米井 幸治

昭和60年4月1日当時の名称 社会福祉法人鶴風会 肢体不自由児施設・東京小児病院・重症心身障害児施設・みどり愛育園給食係調理師として入職しました。

昭和39年開園、私が生まれた年でしたので驚きました。当時から残っている建物は、本館と職員宿舎のみで現在の本館はみどり病棟、地下にボイラー室リネン室がありました。本館は現在の訓練棟南側に3階建ての建物があり、西側に小児病棟の建物、その北側に訓練棟があり、小児病棟西側現在の正門側に厨房と職員食堂や栄養士事務所がありました。

当時のスタッフは栄養士3名、調理師及び調理補助9名だったと思います。開園当時から関わっている方や親世代の方々や年齢の近い方が勤務されており皆さん優しい方で、私が卒業した専門学校の先輩方が4人いたことで心強い気持ちでした。勤務体制は、早出と日勤二交代制で、翌日の早出が時間外で夕食の食器洗浄担当でした。毎回100

食に近い食事に30食くらいの流動食の計量や盛り付け配膳、当時は職員食の申し込み制も作ってました。

障害児者との関わりがまったく無く初めてなので凄く不安でしたが、職員食堂の隣が学童病棟だったので、厨房も近いため子供達がよく顔を出しに来て、自分が食べた食器を洗い場まで持ってきてくれたり、病棟内の雰囲気や保育園や幼稚園みたいな賑やかな光景だった事、現在も入所しているみどり病棟の利用者さんから「おじちゃん美味しかった」と声をかけられ嬉しく思った事などで少しずつ解けていきました。現在は無いのですが、互助会においては、毎年3〜4班で一泊旅行の日程ツアーや野球部の練習などで、関係部所の職員さん達と親睦も深められ、特に一泊旅行では各方面に行った時の事がいろいろと浮かんできて共に、野球部では東京都衛生局主催の野球大会が10年前くらいまで毎年10月にあり、都内の障害者施設との交流試合も楽しみました。3年目の秋に大阪で行なわれる全国重症心身障害者施設職員研修会栄養士調理師コースに参加させていただき、障害者の機能障害などの講演や参加された調理師

さんや栄養士さんのお話も聞けて大変勉強になり、今後の仕事の参考になると思いました。昭和63年、当時の学童病棟の育務職員として勤務していた妻と結婚し沢山の祝福を頂き、同年に一児の父親になり、不安と同時に責任感も増し、公私ともに希望に満ちていました。昭和の元号から平成になり元年に通園棟竣工、平成6年に訓練棟竣工と共に給食厨房・事務所・洗浄室も移動、平成8年新病棟完成と共に重心の病床数が増えて、嚥下が困難な食事形態や経管栄養の方が多くなり、仕事内容も複雑になっていくなか、当時学童病棟にいた子供達は5人だったと記憶していますが、新病棟で賑やかな毎日をご一緒に過ごしてまいりました。現在は退院されていますが、一人一人の退院日当日には見送ることが出来たので良かったです。夫婦の会話でよく東京小児の話題になると、ついつい当時の子供達の様子や職員さん達の事の話して懐かしんでました。そして35年を迎えられたことと私たちが今まで幸せに暮らせていること、それも東京小児のおかげだと思えます。今後とも感謝の気持ちと初心を忘れず努めて参りたいと思います。

社会福祉法人鶴風会へ

「ご寄附者」芳名

令和2年3月～令和2年6月  
238名(順不同・敬称略)

阿部 正和・阿部美代子・安藤 博文  
安部 良治・足立 嘉子・足高 毅  
新井 恒子・青木 継稔・青木万智子  
青木 美澄・青木 悦・青木りう子  
朝山 浩行・相澤 昭・相澤 智子  
相川 嘉正・浅川 和子・浅川 恭行  
朝川 孝幸・荒木眞佐子・井村 和博  
井上 和子・井上 昌光・井出 宏  
伊藤 圭子・伊藤 文子・白石 祐子  
石田 哲朗・石田 秀子・石原 学  
石川雅佳子・石塚 博子・岩本 敦子  
井澤 正博・稲垣 登稔・池田 基昭  
一林 繁・飯国紀一郎・飯国 弥生  
飯塚 卓・上田 素子・梅田 正法  
梅田みほ子・瓜田 純久・江川 惠基  
海老根伊佐子・大江 容子・大島 剛  
大島 眞理・大場 幸延・小原 明  
小原 桂子・岡田 倫明・大関 忍  
小川美佐江・奥住 一雄・大高 究  
春日井正典・加藤 聡彦・加藤まこと  
加藤祐之助・加藤 葉子・加藤 貞人  
河村 康明・河村 裕子・金森 勝士  
梶山 祥子・鹿島田忠史・鎌田 直子  
柁原 宏久・川島 福恵・神坂 陽  
木原 一・北原 信三・鬼頭 秀明

黒瀬 嘉幸・黒木 貴夫・久保 初美  
朽久保哲男・倉根 理一・小澁 達郎  
小林 和司・小林 寅喆・小峰八ツヨ  
向山 徳子・小西 冬海・近藤 栄作  
近藤 弘子・小泉 一介・後藤加寿美  
澤井 寛人・境 敏秀・斎藤 長則  
齊藤 眞一・佐藤 信一・佐藤 和子  
佐藤 麗子・佐藤 宣・佐藤 重雄  
佐藤 中・佐渡 昌子・佐多 由紀  
先山 隆司・坂本 勉・佐々木裕美  
西條 公勝・志越 和子・島野 光  
柴 孝也・渋谷 昌良・嶋田 寛子  
塩野 則次・塩野 久子・清水 一輝  
清水 工経・清水 友理・志鳥眞理子  
柴 忠明・柴 迪子・炭山 嘉伸  
炭山 朋子・杉本 寛子・鈴木 秀明  
鈴木力ツ子・杉山 卓哉・杉山 尚子  
泉水 昇・芹澤 滋幹・田村 恵子  
田岡 博明・田宮 親・田部 秀山  
田中 政信・田上 惠・高月 誠  
高橋比路美・高槻 義夫・高後 裕匡  
高木 利明・館野 昭彦・館野 香織  
武田 晶子・武居 正郎・堤 俊一郎  
月本 一郎・月本 伸子・塚原 洋子  
土谷 久子・津賀 節子・戸塚 華子  
長船 宏隆・長畑 節子・長澤 貞継  
長岡 貞雄・中村 豊・中村志津子  
中谷 尚登・中園 宏紀・中園奈津子  
中澤 一治・中岡 義明・中島龍一朗  
苗村 みえ・永山 隆一・並木 温

新谷 義克・二瓶 浩一・西宮 常代  
西出 幸子・野中 杏栄・野中 博子  
野村 直子・長谷川洋一・長谷川和寿  
早原 千鶴・林 佳子・林 京子  
早川 浩市・原田 則雄・原田裕美子  
原田千鶴子・原田 孝・原 まどか  
橋口 玲子・蜂矢 正彦・馬場 信政  
平田 徹・平野 盛久・平山玖美子  
平野敬八郎・蛭田 啓之・土方 淳  
福永 淳治・古橋 文武・福田 健  
星出 陽子・星野 光雄・星 北斗  
細江 伸央・細田 智子・松原 龍弘  
松原 美保・丸山 和子・水野 惇子  
水野久美子・水吉 秀男・三浦 淳生  
三登 和代・三宅 三・宮崎 元伸  
宮本 佳子・向山 秀樹・村川 公一  
村川世津子・武者 芳朗・森 克彦  
森 紘子・森田 周作・望月 陽子  
安土 達夫・山下 育子・山本 高裕  
山村 憲・山崎 公子・山崎 純一  
山崎 大治・山本 温子・山田 輝代  
山口 美穂・吉田 宏重・吉田 友英  
吉田 正己・横田 卓史・横山 宏  
渡邊 善則・渡邊 亨子  
あきる野市障がい者団体連絡協議会  
会長 森田 康雄

株式会社工クセル・サービス  
株式会社幸和義肢研究所  
株式会社銀座トマト  
トマトの会 会長 塩野 多佳子

公益財団法人星総合病院  
医療法人社団嘉明会 横浜東邦病院  
通所保護者会  
匿名

社会福祉法人鶴風会へ

「ご寄贈者」芳名

令和2年3月～令和2年6月  
11名(順不同・敬称略)

- ◆手指消毒用アルコール 諫山 京
- ◆童謡CD 鮫島 有美子
- ◆布地 岡村 雅一・岡田 美智子
- ◆粘土 NPO法人キッズアートプロジェクト  
理事長 渡邊 嘉行
- ◆フェイスシールド 和原 一夫
- ◆ポケットコート 真如苑
- ◆マスク 真如苑  
坂下 共

株式会社遠藤商会  
株式会社幸和義肢研究所  
コストコホールセール(株)入間倉庫店